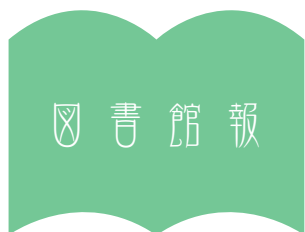




創価大学

Discover your potential
自分力の発見



2013.7 vol.22

SEASON



ISSN 1349-3760

看護学部開設記念 白樺図書館特集… 2

附属図書館 分館長紹介… 4

中国館 感知中国～中国を感じて知る～…5

鍛えの夏！

SBW に参加し読書に挑戦しよう !!…6

図書館便り…7

看護学部開設記念

白樺図書館特集

本年4月、創価大学に看護学部が新たに開設され、看護学部棟内に「白樺図書館」が開館しました。今号のSEASONでは、白樺図書館をご紹介します。

白樺図書館は看護学部分館として看護・医学系の図書を中心に、学部開設時に和書4,000冊、洋書1,000冊が用意されました。600冊以上の電子書籍(Net Library)も整備されています。特に洋書の充実力を入れ、看護学部の

特色のひとつである「グローバルな視点をもった看護師」の養成をサポートしていきます。データベースも看護学部生向けとして、「医学中央雑誌WEB版」「メデイカルオンライン」及び「最新看護索引Web」「CINAHL with Full Text」を新たに導入しました。

館内は白を基調として、採光部を大きくとった窓や天井の吹き抜けから光が差し込む、看護学部らしい清潔感あふれる空間になっています。

まず入口の自動扉を抜けて右手にあるのは、新聞や雑誌の閲覧コーナーです。日刊新聞や医学系の和・洋雑誌を用意。真四角の白いテーブルに、鮮やかな青や緑のチェアが映えます。

雑誌閲覧コーナーの反対側、カウンター前にガラスケースがあり、その中にナイチンゲールの『Notes on Nursing』(看護覚え書き)の初版本が展示してあります。「看護婦の母」として有名なナイチンゲールは、

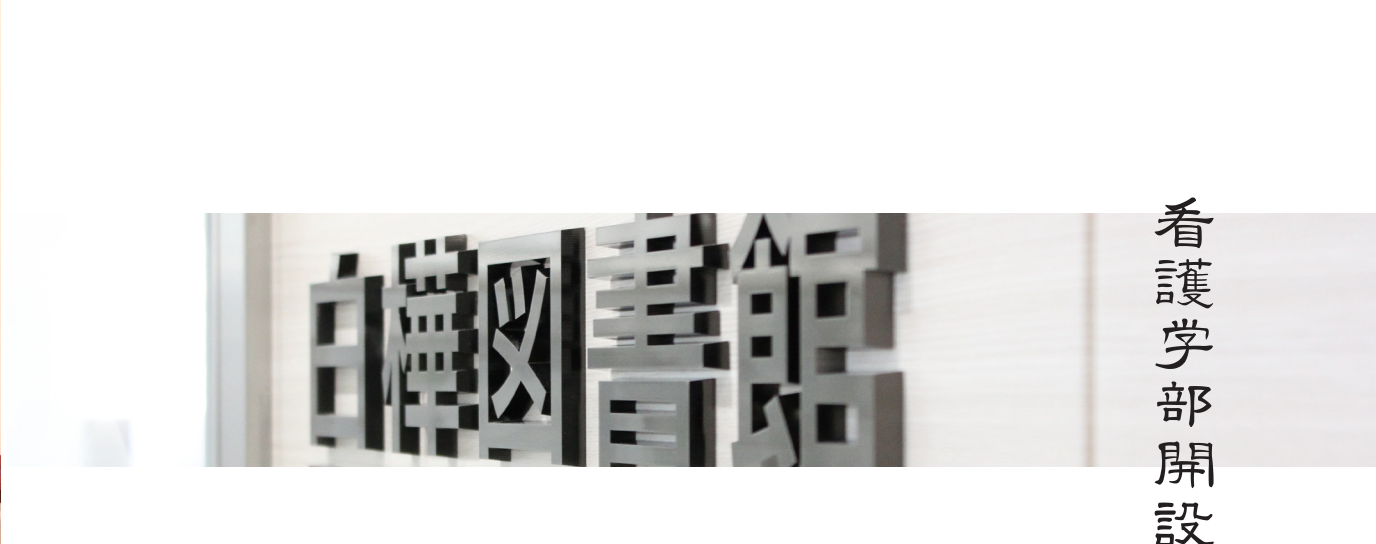
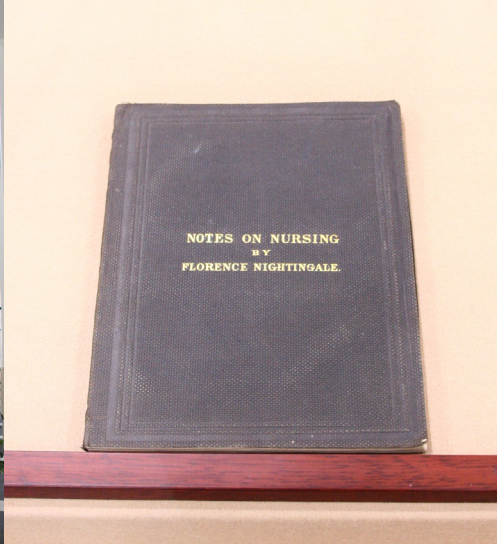
クリミア戦争下の野戦病院で死亡率を半減させて「クリミアの天使」と称賛されました。

この『Notes on Nursing』は『ナイチンゲール著作集』(現代社)や『新訳「看護覚え書」(アセナ国際学術研究所)などで読むことが出来ます。また大学の創立者も『ナイチンゲールを語る』において、彼女について述べられています。

『Notes on Nursing』の奥には、看護・医学の専門書が配架された書架が並びます。まだ空白の目立つ書架ですが、これから随時書籍を充実させてまいります。

通路を挟んで書架コーナーの向かい側は、赤やオレンジのチェアも眩しい閲覧・自習コーナーです。こちらにはパソコンやDVDプレーヤーを用意したコーナーがあり、視聴覚資料を使った学習も可能です。

看護学部の設立理念は「生命の尊厳を基調とし、生命力を引き出す慈愛の看護を実践できる人材の育成」です。白樺図書館はこの理念を達成できるように、学生の皆さんの学習をバックアップしていきます。看護学部生の皆さん。白樺図書館を大いに活用して日々の学習に役立ててください！



創価大学白樺図書館長 村島さい子教授



看護学部白樺図書館にはフ
ローレンス・ナイチンゲールの
「Notes on Nursing」初版本が
展示されています。黒紅色の表
紙の、手のひらにのる程の小さ
な本です。初めて目にした時、
なぜ、このような稀覯本がここ
にあるのか、不思議に思いまし
た。後日、開館記念にと入手し
てくださったと伺い、多くの
方々のご配慮にあらためて感激
致しました。

寄せられたもので、看護師に考
え方のヒントを与えたいという
目的で書かれたものです。
日本では、初版「看護覚え書き」
は、「看護の栞」という書名で、
1913年、日本赤十字発行所
から翻訳出版されています。
晩年、ナイチンゲールは、「も
し、私が自由に歩けるほど健
康を回復できるなら、私はもう
一度やり直すつもりです・・・
私は日々これ新たに学ぶでしよ
うし、また、過去の経験がある
分だけ多く学びとるに違いあり
ません。」と言っています。「生
涯学びの看護」という言葉が、
看護学部の指針の中にありま
す。今、ここから「生涯学びの
看護」がスタート致します。白
樺図書館が、看護を学び続ける
すべての人に、その学びを支援
する場となるよう取り組んで参
ります。

附属図書館 分館長紹介（新任）

創価大学工学部図書館長 渥美雅保准教授



最近、本学図書館の充実に
た電子ジャーナルサービスや
データベースサービス、及びイ
ンターネット上のいろいろな文
献検索サービスのおかげで、図
書館という空間に直接足を運ぶ
ことがめっきり少なくなってい
ました。しかし、図書館の知的
好奇心をくすぐる独特な空気が
好きである。

おかげで何十冊という本、何百
本という文献を電子端末1つの
中に入れてどこにでも持ち歩い
て読める時代になったが、それ
でも紙の本の方が便利なことも
ある。このような社会の動きの
中で、日本の大学図書館でも電
子書籍の導入が始まっており、
今後さらに、図書館の形態や役
割も少しずつ多様化していくこ
とと思われる。

ところで、この職に就き本学
図書館で提供されているサービ
スを改めてみてみると大変充実
していることに感心する。学生
の皆さんには、是非、図書館で
どのようなサービスが提供され
ているかを知って有効に活用し
ていただきたいと思います。また、
大学での生活において、図書館
にできるだけ多く立ち寄って、
多くの本にめぐりあい書物と向
き合って過ごす時間を増やして
いただきたいと思います。

中国館

感知中国 ～中国を感じて知る～

中日国交正常化 40
周年記念行事「感知中国
in 日本」の一環で、中
国の国务院新聞弁公室
より寄贈された図書約
1800冊の整備が整い、
中央図書館4階の中国館で
利用できるようになりまし
た。

中国からの留学生である
張茉さん（経営学部4年）、
陳静萱さん（経営学部4年）

陳昱潔さん（文学部4年）
に、中国館の感想やオス
メの図書を伺いました。

—中国館の印象はいかがで
すか。

張さん…こうして中国語の
図書に囲まれていると、ま
るで故郷の図書館にいるみ
たいです。このような素晴
らしい図書室を作っていた
だいて、創価大学が中国と
の絆を大切にしてくださっ
ていることをとても嬉しく
思います。
—中国館の蔵書について
は。

陳さん…幅広い分野の最新
の図書があります。特に文
学は私たちが学校で習った
ような有名な古典から、現
在、流行している作家の作
品まであって、中国の今を

知るには絶好の資料だと思
います。

—オスメの図書はありま
すか。

【徐志摩诗集】徐志摩は、
中国の20世紀初頭の有
名な唯美派詩人です。徐志
摩の詩から当時の若者の恋
愛観が伝わってきます。

【夏至未至】作者の郭敬
明は、若者「80後」
（1980年代以降の一
人っ子政策の下で育った世
代）の代表的な作家です。
現代中国の若者の生活や恋
愛などが赤裸々に描かれて
います。

【蜗居】タイトルの「蜗居」
は狭い小さな住居のこと
です。中国では、主人公の夫
婦と同じようにローンに苦
しむ人が数多く、この小説
は一種の社会現象になりま

した。繁栄する中国社会の裏
側を知ることが出来ます。

【中国：创新发展】近
年の中国企業は環境保全活動
を自社の経営戦略に取り入れ
ることで大きな成長を遂げて
いますが、その取り組みにつ
いて書かれています。

【盗墓笔记
（daomubiji）】
日本語に訳すと「墓泥棒の
ノート」となる冒険小説です。
名門の墓泥棒の三世である主
人公（吳邪）が祖父のノート
から発見した戦国時代のある
墓の地図をもとに宝を求めて
旅立ちます。

この他にもたくさん資料
がありますので、ぜひたくさ
んの方に読んでもらいたいで
す。

今後、2022年まで

の期間に最新の書籍が
中国館へ寄贈され、合計
3000冊の蔵書となる
予定です。中国館への出入
りは自由。図書も貸出可能
です。留学生の方をはじめ、
中国語を学習している方、
「今」の中国文化に触れて
みたい方はぜひ一度中国館
へお越しください。



鍛えの夏!

SBWに参加し

読書に挑戦しよう!!

学生の皆さん! SBWにはもう参加していますか?

SBW (Soka Book Wave) は創価大学伝統の全学読書運動です。

2013年度は「Reading Effect」読むことで世界は変わる」とのテーマのもとスタートし、現在約230名の学生が挑戦しています。

SBWは、参加登録をおこなったあと、読書感想文やショートレビューを提出。その後、大学院生が添削をしてくれ、承認されるとポイントが加算されていき、5ポイント毎に図書カードが贈呈される、という取り組みです。

SBWに挑戦すると、文章力が向上します。大学院生の添削は、「授業のレポートなどで使っても高い評価を受けることができる表現」を基準におこなっています。

感想文を提出された皆さん、せっかく提出した感想文が、「再提出」の評価をされた経験はありませんか?

感想文の場合、「自分の感想がきちんと書かれているか」、「句読点の打ち方に気をつけ、誰が読んでも理解しやすい文章になっているか」など、細かいところまで確認をしています。「再提出」となった場合は、どこをどのよう修正すればいいか、というアドバイスも記載されていますので、SBW

に挑戦し続けていけば、「自然に文章力が向上」し、しかも「正しい表現が身につく」ことになります。

今年度システムもリニューアルし、9月には、SBWサイトで他の学生が提出した感想文を見ることができるようになります。また、図書館の蔵書検索ページでも、詳細画面にSBWの感想文が表示されます。

SBWはますます進化していき

来年2014年3月は、図書館指針(別掲)が制定されてより10周年の佳節を迎えます。創価大学の読書運動は、創立者の学生に対する期待、それに応えようとする学生の熱意から湧き起こった運動です。鍛えの夏! 皆さんも是非SBWに参加し、読書に挑戦していきましょう!

創価大学図書館指針

- 一、読書は 黄金の輝き
Reading is a golden light.
- 一、読書は 勝利者の源泉
Reading is the wellspring
for achievers.
- 一、読書は 幸福の伴侶なり
Reading is a companion
of happiness.
- 一、読書は 偉人への道
Reading opens a path to greatness.
- 一、良書を読み 悪書を叩け
それが正義の人なり
Read good books and challenging bad books
— this is the way of a champion of justice

～図書館便り～

SBW主催 読書講演会

6月20日、看護学部棟302教室にて、SBW主催による読書講演会が開催されました。

看護学部の添田百合子准教授をお招きして、「夢を実現させる読書」をテーマに約1時間の講演を行って頂きました。SBWでは後期にも読書講演会の開催を予定していますので、読書が好きな方、そうでない方、これから読書に挑戦してみたいという方は、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

第一回図書贈呈会が行われました

中央図書館において、図書贈呈会が7月8日から五日間行われました。

図書贈呈会は、教職員や学



生などの学内利用者を対象として、図書館で古くなった図書や、寄贈されて蔵書が重複してしまった図書などを希望者にお譲りする催事です。猛暑の中、今回も多数の教員や学生たちが来場され、受贈されました。

ラーニング・コモンズの利用状況について

近年の学生の学習形態として、グループによる学習が増えてきたことに対応する形で、本年4月から中央図書館

1階にできたラーニング・コモンズ。図書館報をご覧になっている学生の中にも、既に利用された方がいらっしやるのではないのでしょうか。

4～6月の期間で、ラーニング・コモンズ内の三つのスポット全体で、284組の利用がありました。利用目的の内訳は、ゼミの学習やゼミ以外のグループ学習が最も多く、それぞれ100組近い利用がありました。次いでクラブやサークルの打ち合わせでの利用が約50組となっています。

三つのスポット別ではスペースを広く取ってあるミーティング・スポットとデイベート・スポットの人气が共に高く、集計

期間でそれぞれ110組を超す利用がありました。

利用数の集計をしているのは三つのスポットだけですが、利用申請の要らないフリー・スペースでグループ学習を行っている学生も数多く見受けられるようになり、ラーニング・コモンズ全体でのグループ学習やミーティングの利用が、学生たちに受け入れられてきたように感じます。

従来のグループ学習室の利用数も、集計期間で214組となっており、利用者はラーニング・コモンズとグループ学習室をうまく使い分けているようです。